

R5後期学校生活アンケートより

「かしこく やさしく たくましい 美川っ子」を育てるための改善策



かしこく

相手意識をもって自分の考え方
を表現できる子に

・書くことに重点を置いて指導します。

①友達との交流場面で自分が取り入れたい考えを書く。

②考え方を伝える場面では、話す内容を整理する。

③まとめは、課題にそって書くことを意識する。

④振り返りは、自分の変容を書く。

・「根拠を明確にして筋道を立てて伝える」ことを大切にします。

授業の中で子どもの意見を引き出し教師がコーディネートしながら、
よりよい説明ができるようにします。

やさしく

友達のよさや感謝の気持ちを
伝えられる子に

・6年生を送る会や卒業式等行事を通して、友達のよさを見つけたり

感謝の気持ちを伝えられるように指導します。

・美川っ子議会において、委員会活動の内容を知らせたり学級からの意見を
伝えたりする場を設け、委員会活動の活性化を図ります。

たくましく

主体的に行動できる子に

・学習習慣や規則的な生活習慣の大切さに気付き、

自分で考え方行動するよう指導します。

①けテぶれの取組の充実(高学年)

②家庭学習の取組(全学年)

③元気アップカードの取組(3~6年)

・全教育活動を通して、自ら考え、判断し状況に応じて調整しながら行動する
自己調整力を育んでいきます。



アンケート結果や皆様から頂いたご意見を真摯に受け止め、今後の指導にいかしていきます。
子どもの健やかな成長のためにも、家庭・地域・学校が連携をしていくことが大切だと考えて
おります。今後も、美川小学校の教育活動への御理解・ご協力を願いいたします。